AHD Digital HDD Recorder

USER MANUAL

Model VDH-DXD364A

Part2

http://www.mothertool.co.jp

目 次

7 IP カメラのチャンネル構成

IP カメラをチャンネルへ登録構成します。

IP カメラを登録するチャンネルの画面上をマウスでクリックすると、IP チャンネル設定画面が表示されます。
（登録できるチャンネルは、「構成されていない」と表示されています。）

IP カメラが自動的に検索され、リストに表示されますので、『追加』を押してチャンネルへ登録します。
チャンネルへ登録されると、カメラの情報が表示されます。
この時点では、「接続ステータス」の表示が「ログインしていない」になっています。
IP カメラの「パスワード」を入力して画面右下の『アプリケーション』を押すと IP カメラの映像が画面に表示されます。
『キャンセル』を押して戻ります。

※IP カメラのチャンネル構成の前に『チャンネル管理』で IP カメラが使用できるように設定をしてください。
（USER MANUAL Part1 の 35～39 ページを参照）

8 クイックメニューの操作方法

マウスで画面上を右クリックすると、クイックメニューが表示されます。

メニュー	メインメニュー画面を表示します。(USER MANUAL Part1 の 10 ページを参照)
Guide	ネットワークの接続状態などを確認します。
録画モード	録画モード画面を表示します。
録画再生	録画再生画面を表示します。(USER MANUAL Part1 の 12~15 ページを参照)
PTZ コントロール	PTZ カメラ操作パネルを表示します。
高速 PTZ	高速 PTZ コントロール画面を表示します。
色彩調整	色彩調整画面を表示します。
表示調整	表示調整画面を表示します。(USER MANUAL Part1 の 47 ページを参照)
ログアウト	ログアウト画面を表示します。(USER MANUAL Part1 の 53 ページを参照)
1 画面表示	1 画面表示にするカメラのチャンネルを選択します。
4 画面表示	4 分割画面表示をします。

クイックメニュー画面を終了する場合は、クイックメニュー画面の外側を左クリックします。

＜録画モード＞

カメラ毎の録画モードを設定します。

『録画モード』を選択すると、録画モード設定画面が表示されます。

設定録画	設定録画に設定するカメラのチャンネルを 1～4 または全（一括）より選択します。
マニュアル	常時録画に設定するカメラのチャンネルを 1～4 または全（一括）より選択します。
録画しない	録画しないに設定するカメラのチャンネルを 1～4 または全（一括）より選択します。

『OK』を押して設定終了です。

※録画モードの内容については、USER MANUAL Part1 の 11 ページの『スケジュール』の「録画モード」をご確認ください。

<PTZ コントロール>

PTZ カメラの操作をします。

『PTZ コントロール』を選択すると、PTZ コントロール画面が表示されます。

※PTZ カメラの操作前にメニュー設定にて、『PTZ 設定』をしてください。
（USER MANUAL Part1 の 34 ページを参照）

<高速 PTZ>

マウスを使い、PTZ カメラの方向を制御します。

操作するカメラを 1 画面表示に設定して『高速 PTZ』を選択します。

高速 PTZ 画面に切り替わりますので、マウスにて PTZ カメラの旋回動作を制御します。

＜色彩調整＞

画面の色彩を設定します。

『色彩調整』を選択すると、色彩調整画面が表示されれます。

画面を確認しながら、輝度/コントラスト/彩度/色合い/ゲイン/濃淡/シャープネスを調整します。

時間帯により、調整内容を変更する場合は、右側にチェックを入れて設定します。

『OK』を選択すると、設定が有効になります。

9 IP カメラのみを使用する場合の画面説明

IP カメラのみを使用する場合は、通常の画面と表示が異なります。

	1 画面表示		1 画面表示で次の画面を表示
	4 分割画面表示		全てのチャンネルを表示
	8 分割画面表示		全てのチャンネルを非表示
	9 分割画面表示		常時録画の開始
	全画面表示		常時録画の停止
	1 画面表示で前の画面へ戻す		

10　基本操作

10-1　1 画面表示

本機に電源が入ると分割画面が表示されます。
1 つのチャンネルだけを表示させる場合は、リモコンの各チャンネルボタンを押します。
選択したチャンネルの映像が画面いっぱいに表示されます。
分割画面に戻る場合は、リモコンの分割画面表示ボタンを押します。
マウス操作の場合は、1 画面表示させるチャンネルの画面上をダブルクリックします。
分割画面に戻る場合は、画面上を再度ダブルクリックします。

10-2　録画

録画を開始する前にメニュー設定の『チャンネルモード』『録画画質』『スケジュール』を設定してください。
（USER MANUAL Part1 の 38 ページ/25 ページ/11 ページを参照）
録画には 3 つの録画モードがあります。

10-2-1　常時録画

スケジュールやアラームの設定に関係なく、連続で録画するモードです。
『録画機能』の『スケジュール』の「録画モード」で【常時録画】を選択してください。（USER MANUAL Part1 の 11 ページ参照）
クイックメニューから設定する場合は、『録画モード』の【常時録画】を選択します。
録画を開始すると、画面左下に録画中の●マークが表示されます。
常時録画を停止させる場合は、設定または、『録画モード』で【録画しない】を選択します。

10-2-2　設定録画 － スケジュール録画

曜日毎に 4 パターンまでのスケジュールを設定して設定時間内を連続で録画するモードです。
『録画機能』の『スケジュール』の「録画モード」で【設定録画】を選択してください。次に設定 1～4 で録画スケジュールを設定し、「常時」にチェックを入れます。（USER MANUAL Part1 の 11 ページ参照）
録画を開始すると、画面左下に録画中の●マークが表示されます。
スケジュール録画を停止させる場合は、設定または、『録画モード』で【録画しない】を選択します。

10-2-3　設定録画 － モーション録画

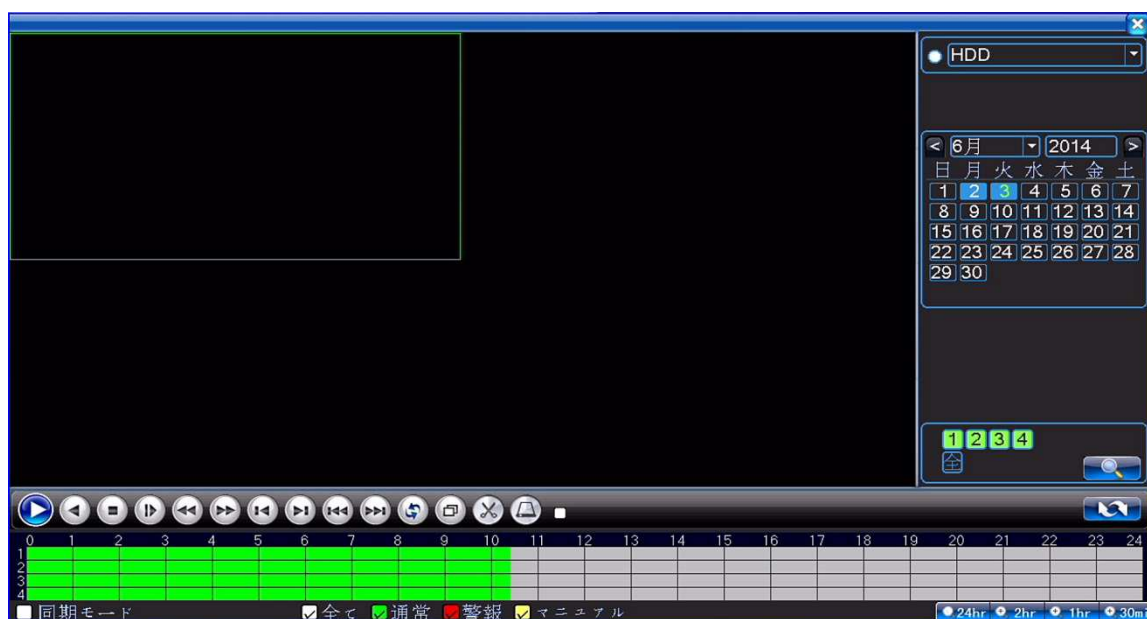
モーション録画は、画面上に動きがあった時だけ録画するモードです。
無駄が無く、ハードディスクの使用量の節約ができます。
モーション録画は、動体を検知してから 0～300 秒の間で設定した時間だけ録画した後に録画を停止して録画待機状態になります。
動体を検知し続けている場合は、検知反応が無くなるまで連続で録画をします。
『録画機能』の『スケジュール』の「録画モード」で【設定録画】を選択してください。次に設定 1～4 で録画スケジュールを設定し、「自動」にチェックを入れます。（USER MANUAL Part1 の 11 ページ参照）
また、『アラーム』の『モーション設定』を【有効】にして、モーション設定を設定します。（USER MANUAL Part1 の 18～20 ページ参照）
設定が有効になると、自動的にモーション録画待機状態になります。
動体を検知すると録画が開始され、動体を検知したチャンネルの画面左下に動体検知マーク“ ”と録画中の●マークが表示されます。

モーション録画を停止させる場合は、設定で【録画しない】を選択するか、『モーション設定』を【無効】に設定します。

◆動体検知録画に関しての注意◆
動体検知は、人感センサーとは異なり、動きの大きさ・速さ・撮影場所の明るさの変化など、様々な条件により起動にばらつきがあります。遅い動きには反応し難く、暗くなると感度が下がったりします。
撮影状態に合わせた感度設定をしてください。感度は、高めに設定することをお勧めします。
確実な記録を残したい場合は、動体検知録画はお勧めできません。連続録画で録画してください。
暗所の撮影は動体を検知し難いため、夜間撮影での設定はお控えください。

※録画を短時間で停止させた場合は、録画データとして保存されない場合があります。
※録画中に停電などで電源がオフになった場合は、再び電源が入ると元の録画状態に戻ります。但し、
　シャットダウンをせずに電源を切ったことになりますので、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクのフォーマットをすることをお勧めします。（USER MANUAL Part1の40～41ページを参照）

10-3　再生

クイックメニューより『録画再生』を選択するか、リモコンの再生ボタンを押すと、録画再生画面が表示されます。

※録画再生画面の操作方法については、USER MANUAL Part1 の 12～15 ページをご確認ください。

10-4　画面自動切替え（ループ表示）機能

各チャンネルを 1 画面で自動的に切替え表示します。
『システム』の『ループ表示』設定画面で、「時間間隔」を 5～120 秒の間で設定し、「画面表示」で自動切替えするカメラのチャンネルを選択します。（USER MANUAL Part1 の 35 ページを参照）
設定が有効になると、設定した時間間隔で画面の自動切替えを開始します。
自動切替えを停止させる場合は、『ループ表示』設定画面で「有効」のチェックを外します。

10-5　デジタルズーム機能

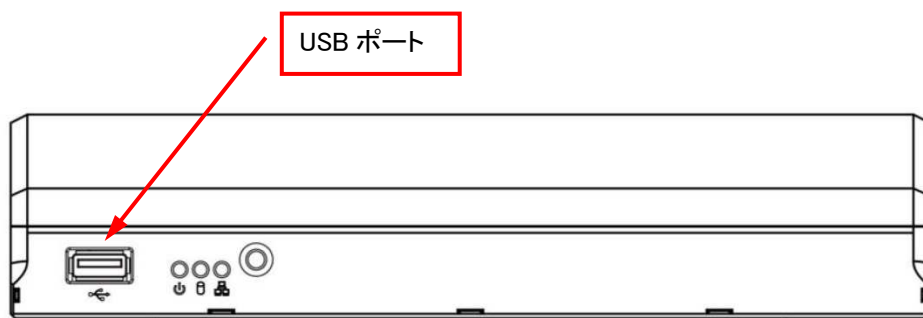
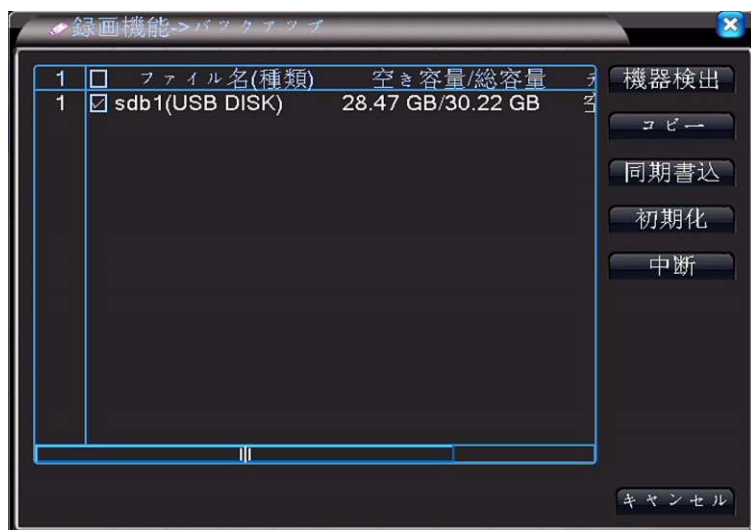
画面上で拡大させる部分をマウスで左クリックしたままスライドさせ範囲を指定します。

指定した範囲上を左クリックすると、指定した範囲が全画面に表示されます。
元の画面に戻る場合は、マウスをダブルクリックします。

10-6　消音機能

モニターへの音声出力をオフにする場合は、画面左下の音声マーク 🔊 をクリックします。
音声マークが 🔈 に変わります。
音声をオンにする場合は、同じ操作を再度行ってください。

10　録画データのバックアップ（保存）

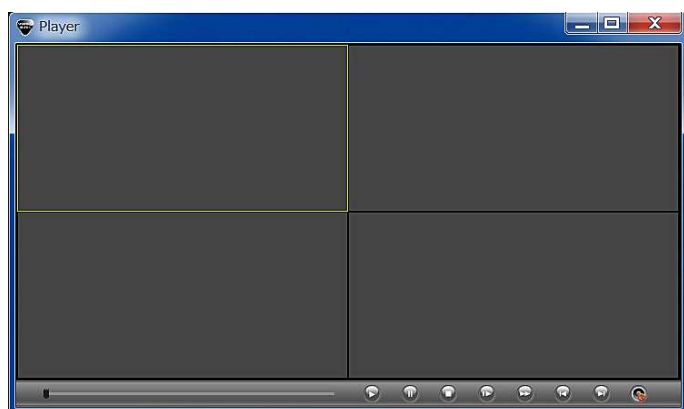
USB ポートを使用し、録画データを USB メモリーにバックアップすることができます。
本体前面の USB ポートに USB メモリーを接続します。

『録画機能』の『バックアップ』を選択すると、バックアップ画面が表示されます。

※ハックアップメニューの操作方法については、USER MANUAL Part1 の 16～17 ページをご確認ください。
※USB メモリーは、ご使用前にパソコンにてフォーマットしてください。
※バックアップ中は、USB メモリーを外さないでください。
※USB メモリーを接続しないままバックアップしようとすると“バックアップデバイスがありません”と表示されます。

12 パソコンでの録画データの再生

付属の CD-R のソフトウェアをインストールして、USB メモリーにバックアップした H.264 の録画データをパソコンで再生します。

付属の CD-R をパソコンの CD-RAM ディスクに挿入して“Player”をインストールします。

パソコンのデスクトップにショートカットが作られます。

“Player”をクリックしてソフトウェアを起動させます。

＜ソフトウェアの操作＞

ビデオサーチバー		クリックしたまま横へスライドさせると再生時刻が移動します。
再生		再生する録画データファイルを選択して再生します。
一時停止		再生を一時停止します。
停止		再生を停止します。
スロー再生		再生速度を 3 段階でスローに切り替えます。
高速再生		再生速度を 3 段階で高速に切替えます。
逆コマ送り再生		クリックする度に 1 コマずつ逆再生をします。
コマ送り再生		クリックする度に 1 コマずつ再生をします。

＜ビューワメニュー＞

画面上でマウスを右クリックするとビューワメニューが表示されます。

Window:1
Close window
Close all window
Audio
Local record
Snapshot

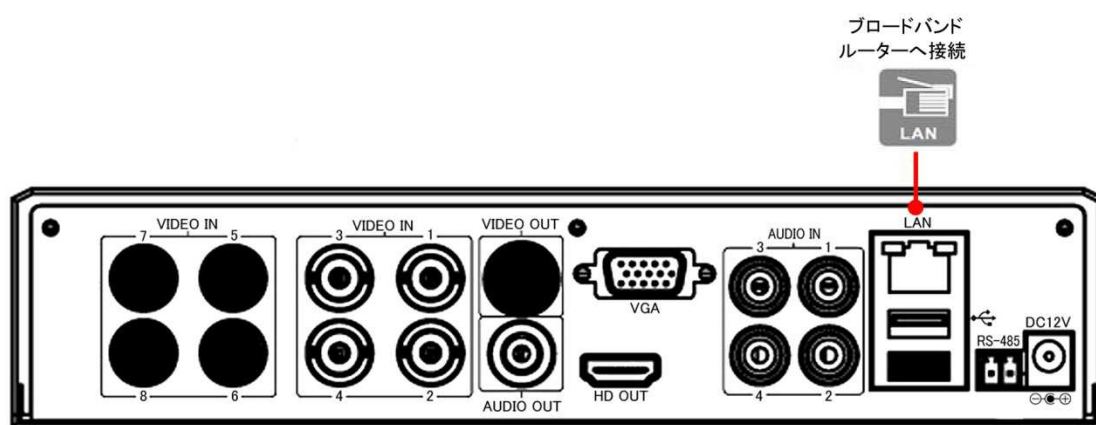
Window	選択しているチャンネルを表示しています。
Close window	選択しているチャンネルを閉じます。
Close all window	全てのチャンネルを閉じます。
Audio	音声のオン/オフを選択します。
Local record	録画データをパソコン内の“Player”フォルダに保存します。
Snapshot	静止画をパソコン内の“Player”フォルダに保存します。

※付属のソフトウェアを使用したことにより、パソコンなどに不具合が生じた場合でも弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
また、全てのパソコンでの動作保証をするものではありません。

13 ネットワーク遠隔監視

インターネットを経由して、遠隔地でのリアルタイム映像の確認と録画データの再生・保存ができます。

●遠隔監視にはインターネット接続回線が必要です。
●インターネット接続回線は光回線を推奨しています。
●本機は、グローバル IP による遠隔操作を行いますので、固定 IP アドレスの取得をお勧めします。
　固定IPアドレス取得に関しては、ご契約のプロバイダーにご相談ください。
　DDNS を使用する場合は、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご依頼ください。

※本ソフトを使用したことによりパソコンに不具合が生じた場合でも弊社では責任を負いかねますので
　ご了承ください。また、全てのパソコンでの動作保証をするものではありません。

●背面の LAN ポートとブロードバンドルーターを LAN ケーブル（ストレート）で接続します。
●インターネットモデムとルーターを接続します。

注意：ネットワーク機器の設置・設定をするには、ご使用のネットワーク環境の基礎知識が必要です。
　　事前に、ご使用のネットワーク環境の確認をしてください。ネットワーク機器の設置・設定は、
　　必ず専門知識のある人（ネットワーク管理者）が行ってください。

＜ブロードバンドルーターの設定＞

ルーターとは、ネットワーク上を流れるデータを他のネットワークに中継する機器です。
複数のネットワーク機器を接続する場合に使用します。
外部からグローバルアドレスで本機に接続するため、ルーターのアドレス変換機能を設定します。
各ルーターの取扱説明書に従って設定箇所に入力します。

（例）

静的IPマスカレード関連(フィルタの自動定義：80番～89番)　追加

	プロトコル	ポート	使用ホストIPアドレス	削除
1	tcp	8001	192.168.0.180	☐
2	udp	8001	192.168.0.180	☐
3	tcp	9001	192.168.0.180	☐
4	udp	9001	192.168.0.180	☐
5	tcp	8080	192.168.0.114	☐
6	udp	8080	192.168.0.114	☐
7	tcp	34567	192.168.0.101	☐
8	udp	34567	192.168.0.101	☐
9	tcp	www	192.168.0.101	☐
10	udp	www	192.168.0.101	☐

DMZホスト

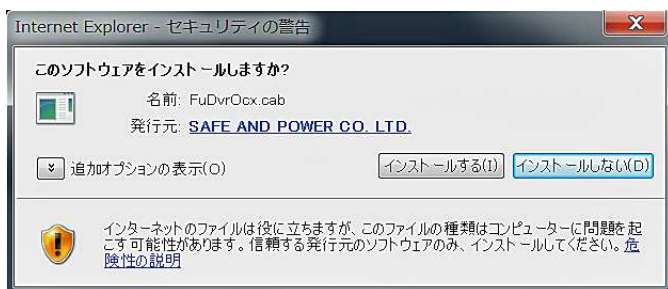
IPアドレス	192.168.0.200

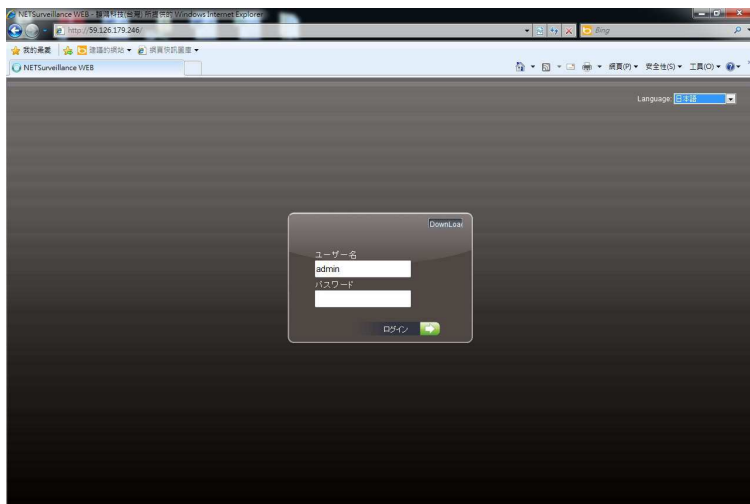
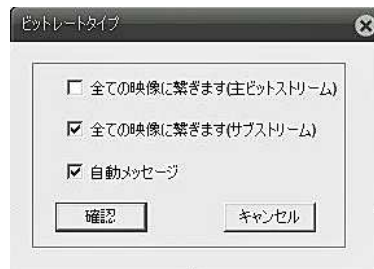
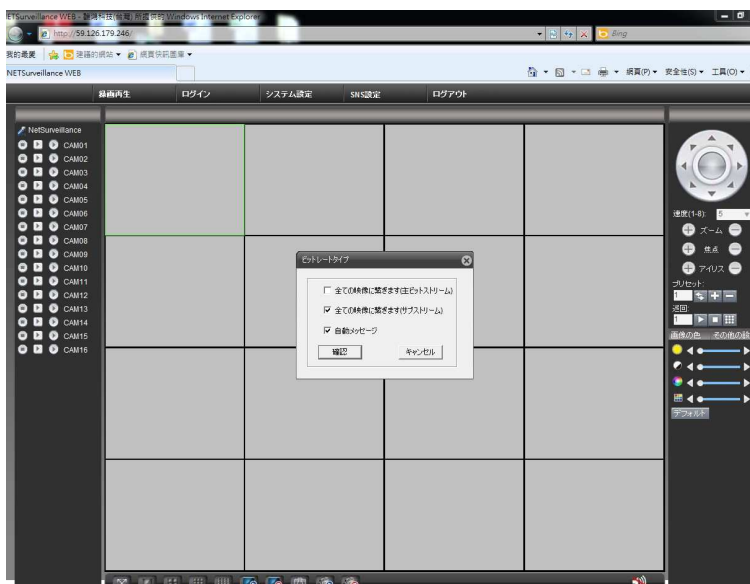
本機に設定したポート番号とプライベート IP アドレスを登録します。（USER MANUAL Part1 の 26 ページの『ネットワーク』 を参照）

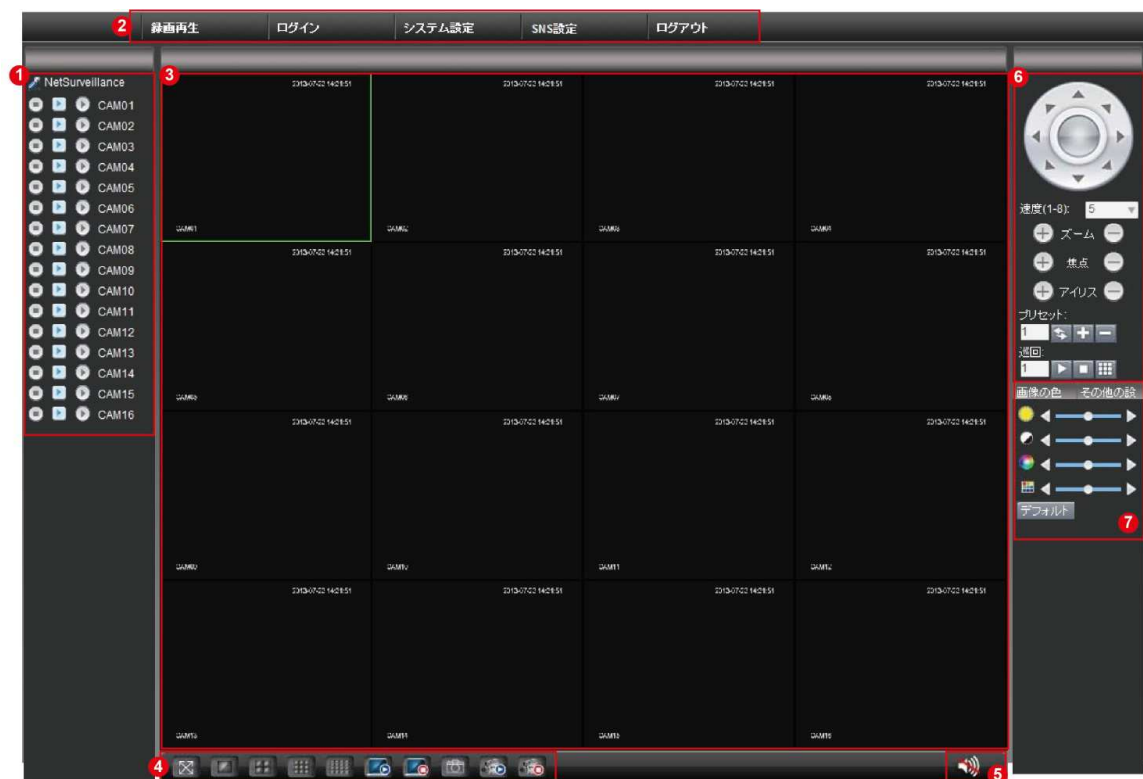
tcp と udp の両方のプロトコルで Web ポートとビデオポートのポート開放設定をしてください。

※使用するブロードバンドルーターにはアドレス変換機能が必要です。

＜ログイン＞

事前にメニュー画面にてネットワークの設定をします。（USER MANUAL Part1 の『ネットワーク』を参照）
ブラウザ（InternetExplorer）を起動します。
ブラウザのアドレス欄にプロバイダーより割り当てられた固定 IP アドレスまたは、DDNS サーバーに登録された IP アドレスを入力します。
初回のログイン時のみ、ブラウザ上にアドオンのインストール提示があります。
その提示文字にクリックして“アドオンの実行”をクリックしてください。
ActiveX コントロール（プラグイン）実行画面が表示されます。
実行を承認し、ソフトウェアをインストールしてください。

インストールが終了すると、ログイン画面が表示されます。

※正しくダウンロードされない場合は、ブラウザのセキュリティレベルやファイアウォールが適切に設定されているか確認してください。
また、ルーターの設定が適切に行われていることを確認してください。

本体に設定したユーザー名とパスワードを入力して『ログイン』を選択すると、分割画面が表示されます。
※初期設定は、ユーザー名が「admin」でパスワードは、設定されていません。
※デュアルディスプレイには対応していません。

ビットレートタイプを「主ビットストリーム」または、「サブビットストリーム」より選択します。
初期設定は、「サブビットストリーム」です。
『確認』を選択すると、ライブ映像画面が表示されます。

＜操作方法＞

❶チャンネル毎の選択：「主ビットストリーム」「サブビットストリーム」「録画のオン/オフ」
❷システム機能

『録画再生』：再生可能な録画映像を検索します。

「リモート再生」を選択して録画データを検索します。

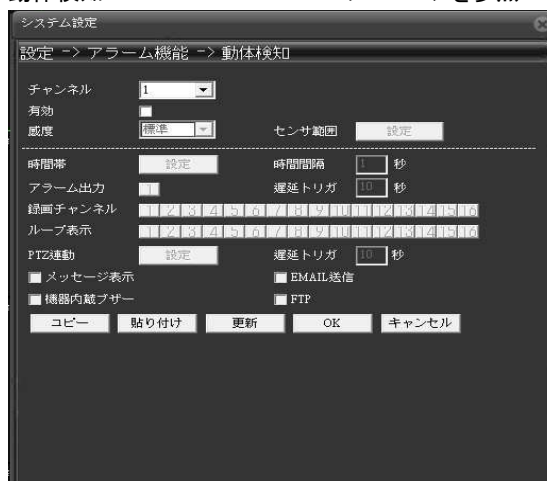
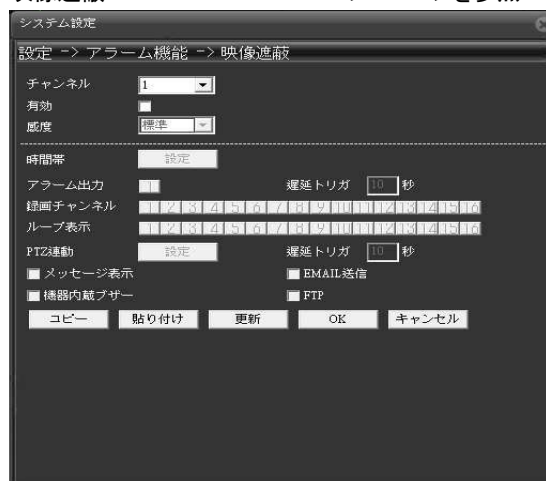
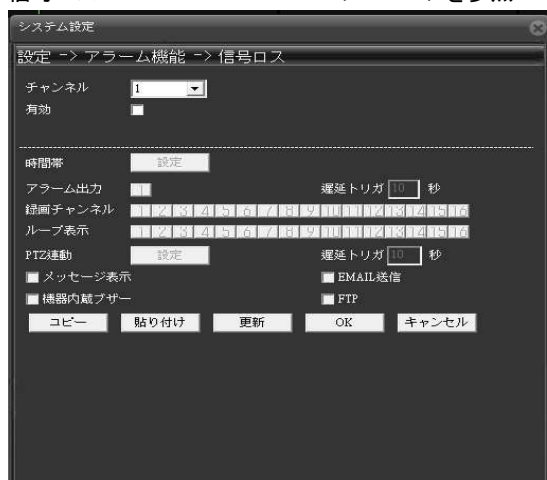
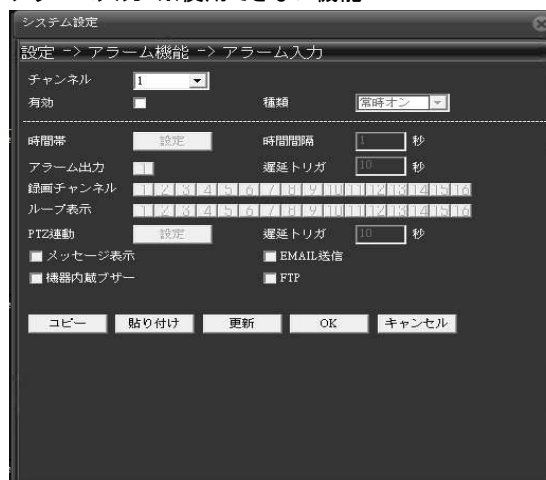
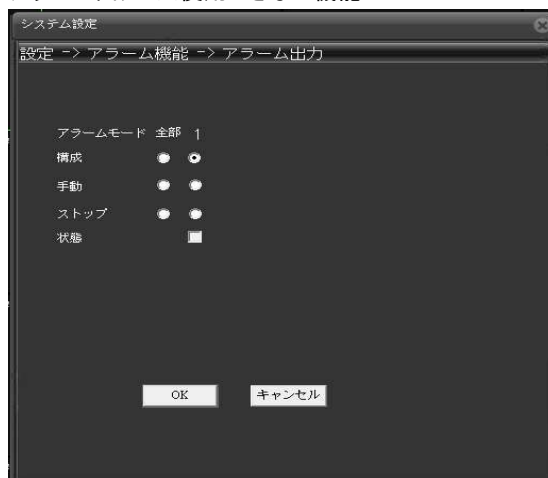
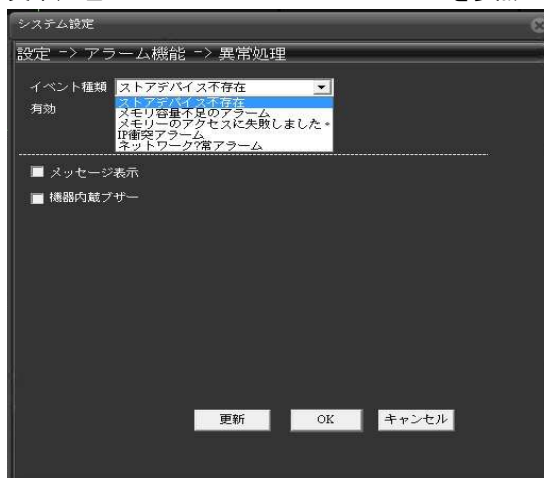
『ログイン』：アラーム情報などを表示します。

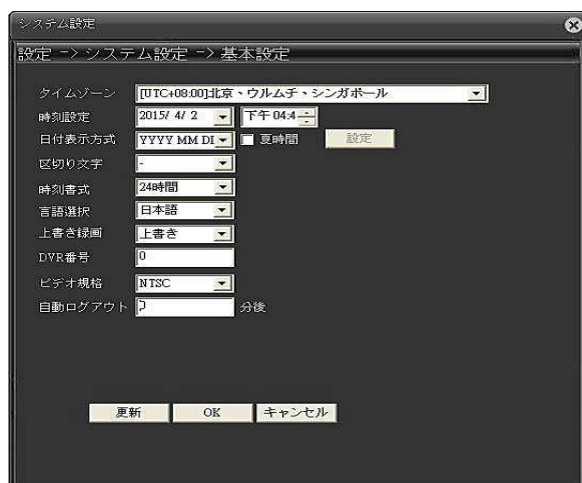
『システム設定』：録画機能/アラーム機能/システム設定/管理ツール/システム情報

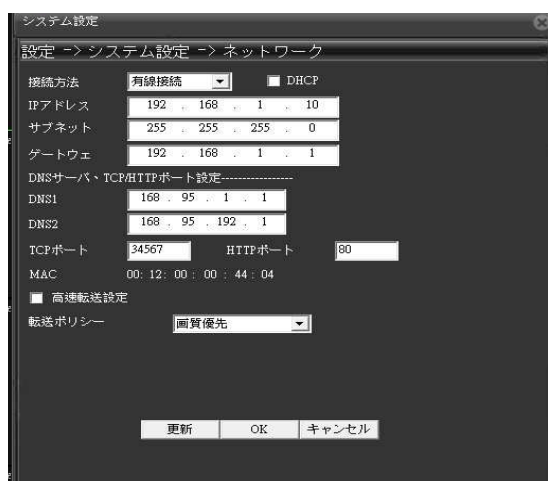
録画機能>録画設定：カメラ毎に録画条件の設定をします。

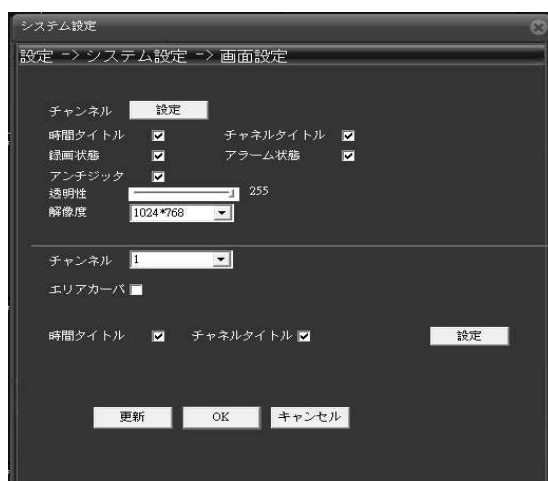
設定内容は、USER MANUAL Part1 の 11 ページをご確認ください。

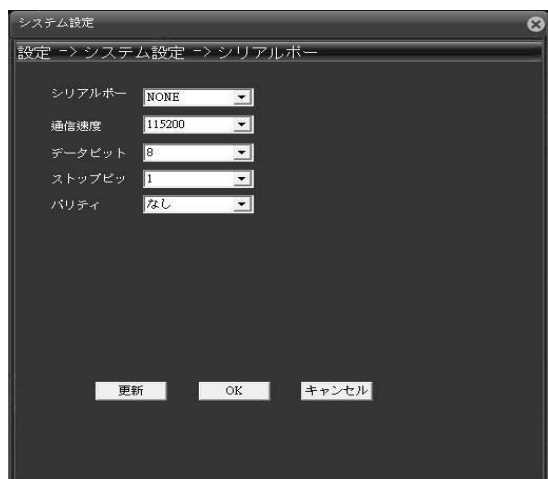
アラーム機能：動体検知/映像遮蔽/信号ロス/異常処理

動体検知：USER MANUAL Part1の19ページを参照

映像遮蔽：USER MANUAL Part1の21ページを参照

信号ロス：USER MANUAL Part1の22ページを参照

アラーム入力：※使用できない機能

アラーム出力：※使用できない機能

異常処理：USER MANUAL Part1の23ページを参照

システム設定：基本設定/エンコード（録画条件）/ネットワーク/サービス設定/画面設定/PTZ 設定/シリアルポート

基本設定：USER MANUAL Part1の24ページを参照

エンコード：USER MANUAL Part1の25ページを参照

ネットワーク：USER MANUAL Part1の26ページを参照

サービス設定：USER MANUAL Part1の27ページ参照

画面設定：USER MANUAL Part1の32ページを参照

PTZ設定：USER MANUAL Part1の34ページを参照

シリアルポート：※使用できない機能

※エンコード設定で設定した録画条件が、そのままネットワークのライブ映像に反映されます。

管理ツール：ハードディスク/アカウント/自動メンテ/デフォルト/輸入と輸出/再起動/アップグレード/チャンネルモード

ハードディスク：USER MANUAL Part1の40ページを参照

アカウント：USER MANUAL Part1の42ページを参照

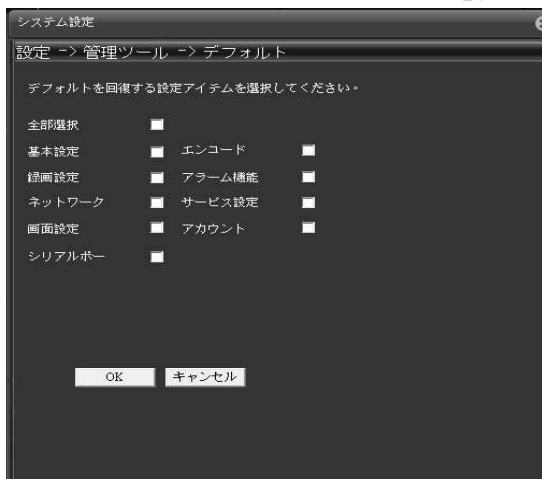
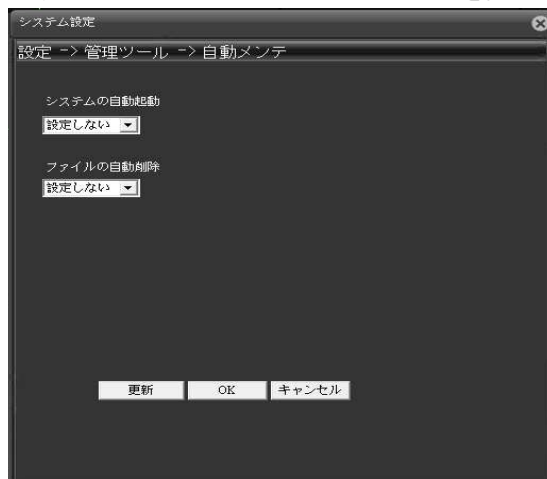
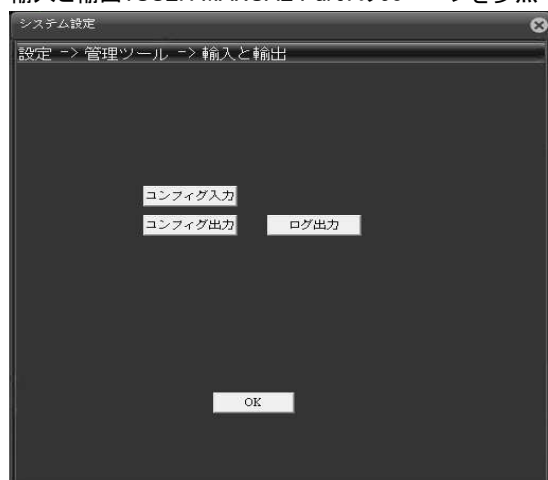
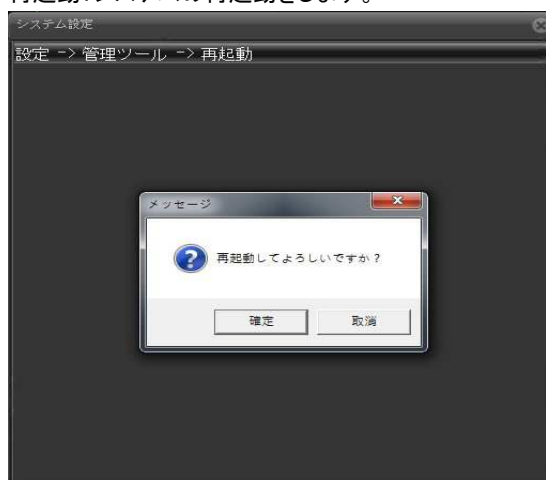
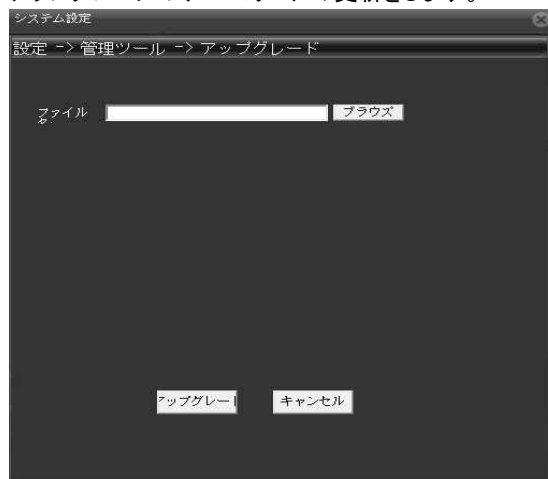
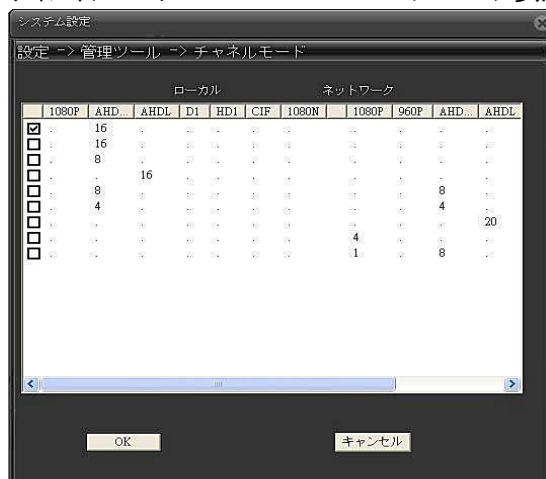
自動メンテ：USER MANUAL Part1の48ページを参照

デフォルト：USER MANUAL Part1の48ページを参照

輸入と輸出：USER MANUAL Part1の50ページを参照

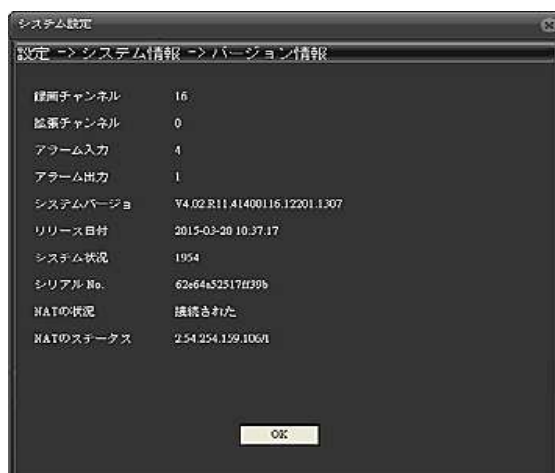
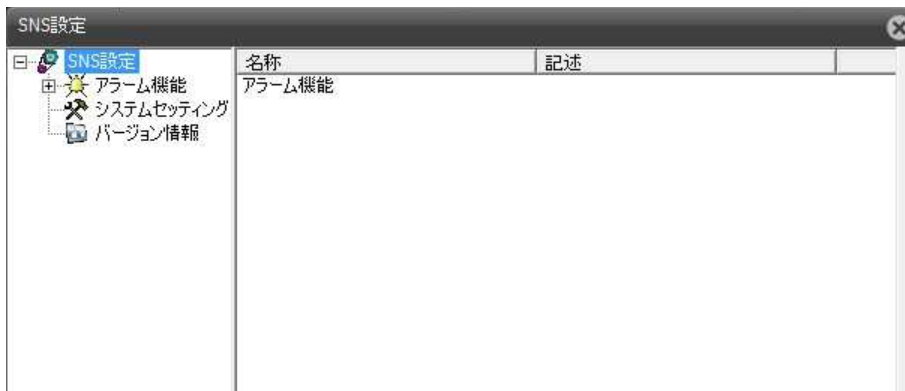
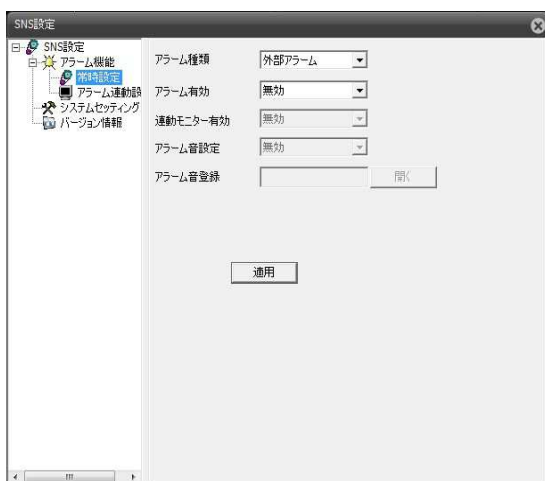
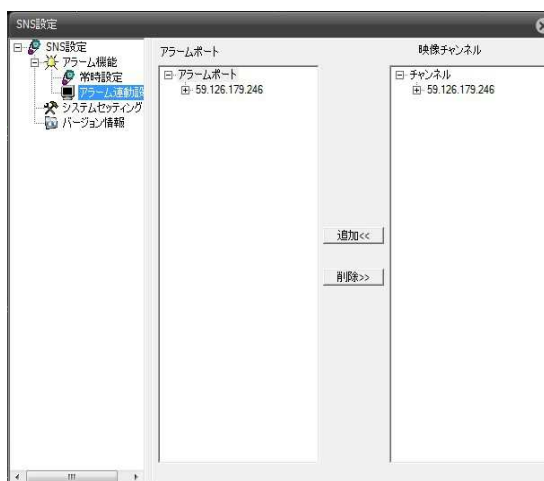
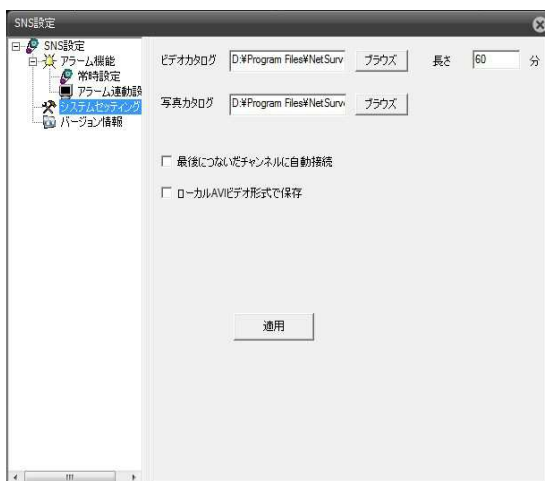
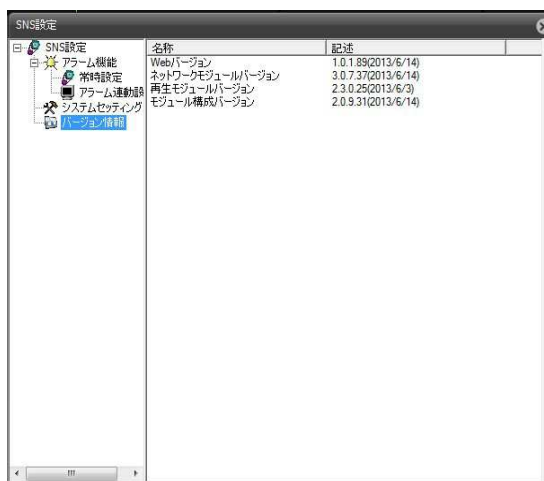
再起動：システムの再起動をします。

アップグレード：ファームウェアの更新をします。

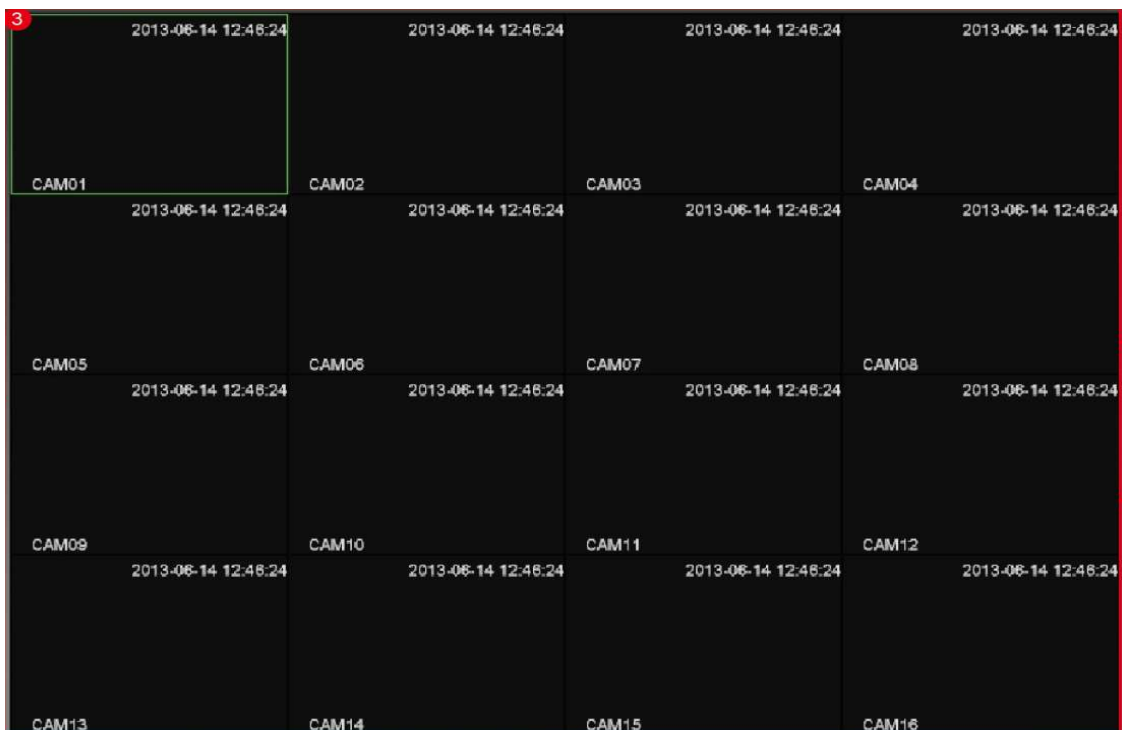
チャンネルモード：USER MANUAL Part1の38ページ参照

システム情報：ハードディスク/ログ情報/バージョン情報

ハードディスク：USER MANUAL Part1の51ページを参照

ログ情報：USER MANUAL Part1の52ページを参照

バージョン情報：USER MANUAL Part1の53ページを参照

■『SNS 設定』: 録画データと静止画像の保存先とアラームの設定をします。

アラーム機能>通常設定

アラーム機能>アラーム連動設定

アラーム機能>システムセッティング(保存設定)

「ビデオカタログ:動画」「写真カタログ:静止画」

バージョン情報

■『ログアウト』: ライブ映像からのログアウト

❸再生画面及びチャンネル表示

❹操作ボタン

	全画面		全てのチャンネルを表示
	1画面		全てのチャンネルを閉じる
	4分割画面		静止画を保存
	9分割画面		全てのチャンネルを録画
	16分割画面		全てのチャンネルの録画を停止

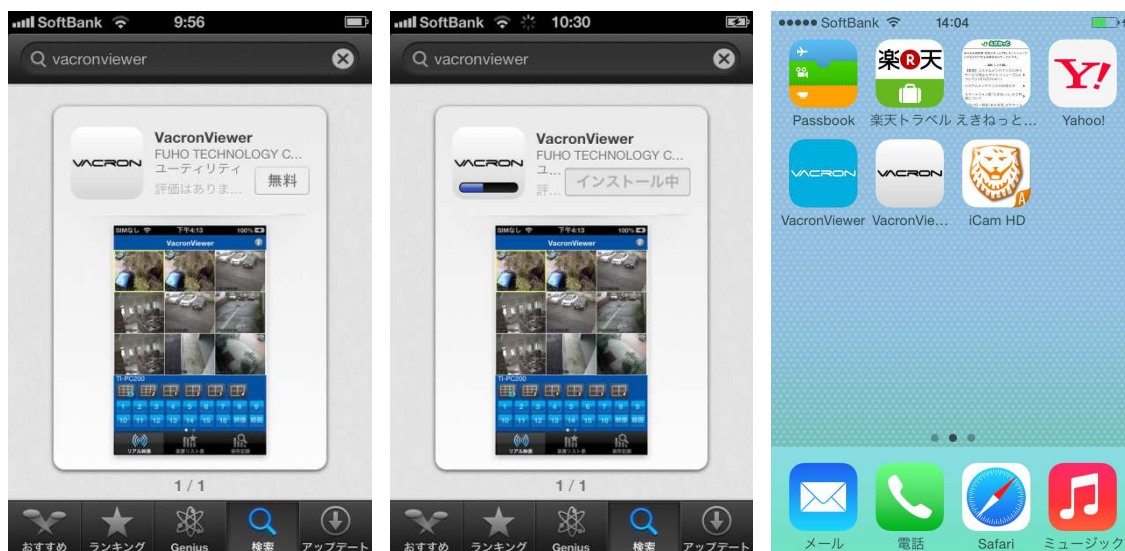
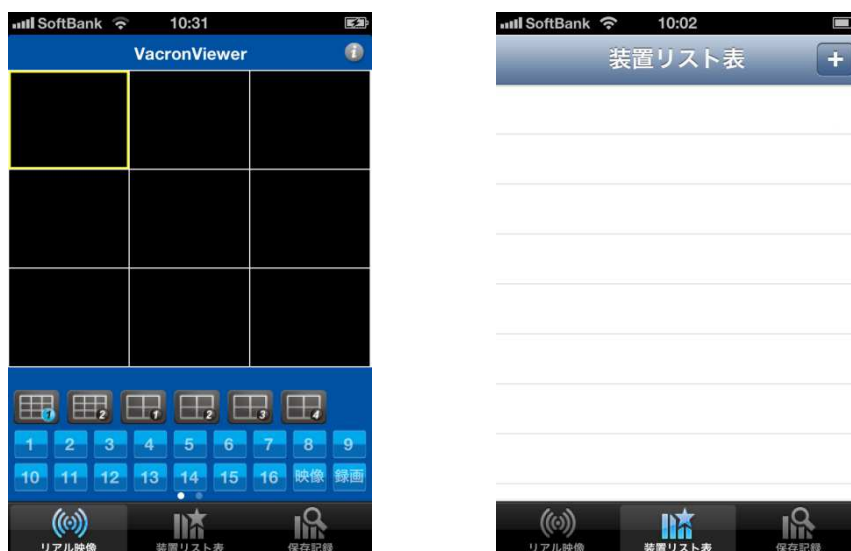
❺音声のオン・オフ

❻PTZカメラの操作

❼映像の色彩の調整

14 スマートフォンからのモニタリング

各社のスマートフォンストアより、スマートフォン用のアプリ“Vacron Viewer”を検索してインストールします。

※Android 用アプリは、英文表記になります。

“Vacron Viewer”を起動させます。

装置リスト表 を選択して、装置リスト表を表示させ、接続する DVR を登録します。

を選択して、装置情報画面へ必要事項を入力します。

種類	DX-DVR を選択します。
装置名称	任意の名称を入力します。
設備位置	プロバイダーより、割り当てられた固定 IP アドレスまたは、DDNS のアドレスを入力します。
ビデオポート	本体に設定しているビデオポートを入力します。
ユーザー名	本体に設定しているユーザー名を入力します。（設定していない場合は未入力）
パスワード	本体に設定しているパスワードを入力します。（設定していない場合は未入力）
チャンネル	チャンネル数を入力します。

全ての入力が終わったら、『完了』を選択すると、装置リスト表に登録されます。

を選択すると、設定内容の確認・変更が可能です。

装置リスト表から接続する DVR を選択すると、ビューアー画面に接続した DVR の映像が表示されます。

8 分割①	チャンネル 1～8 を表示します。
8 分割②	チャンネル 9～16 を表示します。
4 分割①	チャンネル 1～4 を表示します。
4 分割②	チャンネル 5～8 を表示します。
4 分割③	チャンネル 9～12 を表示します。
4 分割④	チャンネル 13～16 を表示します。
1～16	各チャンネルを全画面表示します。
映像	静止画を保存します。
録画	動画を保存します。

静止画を保存する場合は、表示しているカメラの映像を選択し、『映像』を選択します。

動画を保存する場合は、表示しているカメラの映像を選択し、『録画』を選択します。

動画の保存を止める場合は、再度『録画』を選択します。

保存したデータを再生させる場合は、保存記録 を選択します。

『映像ファイル（静止画）』または、『映像（動画）』から保存データを選択すると、選択したデータが再生されます。

保存データを削除する場合は、『編集』を選択し、削除する保存データの⛔を選択します。

『削除』を選択すると、保存データが削除されます。

15 ハードディスク(HDD)について

本機はハードディスク(HDD)に映像を記録します。故障やハードディスクの接続不良による、記録した画像内容の消失、誤動作などを起こさないように以下の点に注意してください。

● 落下させたり、強い衝撃を与えないでください。持ち運びの際もご注意ください。
● 振動する場所では使用しないでください。
● 電源をいれたまま本機を動かさないでください。
● 動作中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグの抜き差しは、シャットダウンの操作後に行ってください。
● 外部機器などの電気的ノイズの影響により本体が正常に動作しない場合があります。
● 停電などで、シャットダウン操作をせずに電源が切れた場合は、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクのフォーマットをすることをお勧めします。
● 他の機器(同機種においても)で録画データを記録したハードディスクを接続した場合、録画データが消失する場合がありますので、ハードディスクの共用はしないでください。
● 極端に高温の場所(40℃以上)での使用は絶対に避けてください。
● 通風孔をふさがないでください。AV ラック等に収納してご使用になる場合は、ご注意ください。
● 埃や湿気の多い場所には置かないでください。定期的に内部の清掃を販売店へ依頼してください。
● 本体内部のハードディスクには絶対に手を触れないでください。何らかの原因でハードディスクが故障した場合でも、ご自分で交換することはできません。お買い上げの販売店または、マザーツールまでご連絡ください。なお、点検・修理の際に録画データが消失した場合のデータ内容の補償については、ご容赦ください。
● ハードディスクは消耗品です。本機を毎日 24 時間連続でご使用になる場合は、1～2 年毎にハードディスクを交換する事をお勧めします。
● ハードディスクを交換する場合でもお客様で交換することはできません。お買い求めの販売店へ依頼してください。

16 故障かな？と思ったら

症　　状	確認と処理方法
全く動作しない	●電源コードがコンセントから抜けていませんか？ ●電源ランプは点灯していますか？
録画ができない	●チャンネル設定はされていますか？ ●ハードディスクの録画データがいっぱいになっていませんか？ ●電源を入れ直してハードディスクの初期化をしてください。
スケジュール録画が動作しない	●時間は正確に設定されていますか？ ●「スケジュール設定」の見直しをしてください。 (USER MANUAL Part1 の 11 ページを参照)
モーション録画が動作しない	●「モーション設定」の見直しをしてください。 (USER MANUAL Part1 の 19 ページを参照)
上書き録画ができない	●「上書き録画設定」を確認してください。 (USER MANUAL Part1 の 24 ページを参照)
再生ができない	●録画データはありますか？　●電源を入れ直してください。
画像がぼやける	●カメラの焦点などの状態を確認してください。
時計が正確ではない	●電源を切ってから長期間経過していませんか？
画面表示のバランスが悪い	●「表示調整」の確認をしてください。 (USER MANUAL Part1 の 47 ページを参照)

※処理をしても症状が解決しない場合は、電源を切り、しばらくしてから電源を再投入して、再度症状を確認してください。

各設定を初期化して、再度症状を確認してください。（USER MANUAL Part1 の 48 ページの『初期化』を参照）

問題が解消できない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

17 修理に関して

●修理をご依頼される場合は、必要な設定データや録画データは、事前にバックアップを行ってください。点検や修理において、データの初期化が必要になり、データを消去する場合があります。録画データの復元やコピーは出来ませんのでご了承ください。

●不具合の原因が設定の問題や一時的な誤動作、ハードディス内の記録データ（システムや録画データ）で、物理的な異常では無いものがあります。このため、ご依頼の前に設定をご確認頂き、電源の再投入や設定の初期化、ハードディスクのフォーマットを試して頂けますようお願い致します。

＜修理に関するお問い合わせ先＞

株式会社マザーツール　業務部　修理課

〒386-0033　長野県上田市御所431-4

TEL：0268（75）8578　FAX：0268(25)8410

18 録画時間の目安表

◆カメラ 4 で全て同じ設定の場合◆

録画解像度	フレームレート fps	画質 6	画質 5	画質 4	画質 3	画質 2	画質 1
AHD-M (1280×720)	25	324	428	521	666	857	1333
	10	666	857	1090	1333	1714	3000
AHD-L (960×480)	30	272	363	545	750	1090	1333
	10	666	923	1333	1714	2666	3000
D1 (704×480)	30	444	545	750	1090	1500	2181
	10	1090	1333	1714	2666	3529	6000
HD1 (704×240)	30	545	750	1090	1500	2181	3000
	10	1333	1714	2666	3529	6000	7058
CIF (352×240)	30	1090	1500	2181	3000	6000	17142
	10	2666	3529	5454	7058	15000	48000

単位：時間

※目安表の録画時間はあくまでも計算上の目安ですので誤差がある場合があります。

動きの多い映像や色の種類が多い映像の録画等、映像の状態により録画時間が極端に短くなることがあります。

19 製品仕様

映像入力		4チャンネル BNC.J
映像出力	HDMI	最大1920×1080
	VGA	最大1920×1080
音 声	圧縮方式	G.711A
	入力	4チャンネル RCA.J
	出力	1チャンネル RCA.J
録 画	映像圧縮方式	H.264
	解像度	720p/960H/D1/HD1/CIF
	フレームレート	1～30fps (720p@25fps)
	画質	6段階
	モード	常時録画/スケジュール録画/モーション録画/マニュアル録画
	プリレコード	1～30秒
	ポストレコード	10～300秒
画面表示	解像度	720p
	画面モード	1画面/4画面
	オートシーケンス	5～120秒
	デジタルズーム	エリア選択(mouse dragging)
再 生	再生速度	4段階 （再生/逆再生/スロー再生）
	同時再生	最大4チャンネル
バックアップ	ファイルフォーマット	AVI/H.264
	メディアインターフェイス	USB2.0(フラッシュメモリー)
表示言語		28ヶ国語対応
ネットワーク	プロトコル	HTTP/DHCP/DDNS/NTP/SMTP/FTP/DNS/UPNP/PPPoE
	ブラウザー	IE
	ストリーミング	AHD-M/AHD-L/D1/HD1/CIF/QCIF
内蔵ハードディスク		SATA 2TB×1
電源		DC12V±1V（センタープラス）
消費電流		約2A（最大）
使用動作温湿度範囲		0～46℃/20～80%
寸法		222(W)×50(H)×215(D)mm
重量		約1350g
付属品		ACアダプター/HDMIケーブル/リモコン/マウス/PC再生用ソフト

※このデジタルHDDレコーダーは、映像を記録するためのもので、盗難防止装置ではありません。
万一発生した事故損害等については、責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書（持込修理）

製品に本保証書を添えて、ご購入販売店又は弊社宛にご送付ください。
ご購入年月日は販売店にてご記入願います。
販売店名及びその押印無きものは無効となりますので、ご購入時に必ずご確認ください。

型番	VDH-DXD364A　serial
お買い上げ日　：	年　月　日
保証期間　：	お買い上げ日より 2 年間
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号
販売店	店名／住所／電話番号　印

保証規定

保証期間中に取扱説明書に添った正常な使用状態で故障等が生じた場合は、保証規定により、無償修理または同等品もしくは代用品と交換致します。
但し、下記事項に該当する場合は、保証の対象から除外致します。

①製品仕様で定める使用可能な範囲を超えた条件（定格や環境等）や取扱説明書の手順、注意事項を怠ったことが原因とする故障及び損傷
②弊社以外による修理または改造に起因する故障
③ご購入後の輸送または落下等による故障
④火災・水害・地震・落雷等の天災地変及び公害・塩害・ガス害（硫化ガス等）・異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）等による故障及び損傷
⑤消耗部品の交換または補充
⑥保証書の提出が無い場合
⑦その他、弊社の責任とみなされない故障

※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
※本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
※この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ハードディスク・ACアダプターは、消耗品扱いのため、保証期間は、1年間です。

株式会社マザーツール

〒386-0033　長野県上田市御所431－6

― 輸入販売元 ―

防犯カメラシステム＆デジタル計測器

〒386-0033　長野県上田市御所４３１－６
TEL：0268-25-2332　FAX：0268-25-2398

2015 年 5 月作成

MADE IN TAIWAN